

口は健康のもと Vol.106

高齢者の歯科治療 ～健康状態の配慮が大事～

今回は高齢者の歯科治療についてお話します。

私たちが高齢者の歯科治療を行うときは、全身の状態および歯や口腔(こうくう)内の状態の変化に配慮する必要があります。

高齢者の歯は成人健常者と比較し、咬耗、摩耗、歯肉退縮(歯茎が下がること)による歯の根の露出や、歯の根に虫歯が進行することによる外来刺激からの防御反応として石灰化が進み、歯髓腔(歯の中心にある神経の入っている空間)が小さくなる傾向があります。このため神経を除去する治療の場合は、エックス線写真で歯髓腔の形態や方向を確認しながら慎重に治療を行います。

高齢者は高血圧症や糖尿病などの内科疾患を有し、腰痛などの持病を抱えている場合が多く、また傷の治癒能力も低下している傾向にあります。このため患者さんの体調、治療姿勢体位にも配慮しながら診療を行います。

歯科を受診する理由で最も多いのが歯の痛みだと思いますが、多くの方が治療に対して不安を抱き、治療を受けることにストレスを感じる人が多いと思います。

当院では、特に持病をお持ちの高齢者の歯科診療は、脈拍、血圧、呼吸、体温などの全身的な状態を確認しながら歯科治療を行っています。治療に対するご質問等はお気軽にお申し出ください。



奥羽大学歯学部附属病院 総合歯科

講師 佐藤 穂子

